

平成29年度 社会福祉法人 明徳会 事業報告

計画者：石井 康就

◇ 事業方針

GO TO THE NEXT 進化しよう！

今年度は「GO TO THE NEXT 進化しよう！」を運営ポリシーに掲げ、それぞれの事業所で課題や目標に向けた取り組みを行っています。法人としての全体的な課題としては人員確保の問題が大きな課題となっており、新たな事業展開を行っていく為にも必要な人材を確保できるような取り組みを今後も工夫していきたいと思っております。また、昨年度の不祥事に関して再発防止に向けた取り組みを法人委員である権利擁護委員会を中心に行っています。再び信頼を取り戻していけるよう今後も研鑽を続けていき、権利擁護の意識向上に努めていこうと思っております。

◇ 事業所ごとの課題と取り組み

● チャレンジめいとくの里

【入所／介護系】

日中活動統括、短期・日中一時、職員育成に加えて「き・か・くプロジェクト」を新たに配置しています。ご利用されている方々の個別のニーズや個々の楽しみ・嬉しい気持ちを生み出していけるような取り組みを行っています。また、職員育成に関しては1年目2年目の職員を主な対象とし働きやすさ、働き甲斐のある職場を目指して計画を行い実行しています。まだスタートしたてでこれからの部門でもあるため、次年度も引き続きより効果的な計画を実行していけるよう工夫していきたいと思っております。

入所部門に関しては待機者が70名を超えており、更に増えていく可能性もある状況です。少しでも入所待機者の課題を解消していけるよう、グループホーム建設も視野に入れ、今後も検討課題のひとつとなっています。

● 障がい福祉サービス事業所 ケア・ハピネス

開所して3年目に入り、一つの節目を迎えた年度でした。まだ利用率100パーセントを達成できておらず、平均すると30名を少し超える利用率となっています。各グループともに40名利用に向けては更なる努力が必要だと感じています。また地域へ向けた取り組みに関しては「かじおハピロバ」を11月にオープンしお披露目会を行っています。まだ、来場される方が少ない状況ですがこれから色々なイベントを企画したり、地域の活動の場として提供していけるよう各団体への啓発を行っていきたくと考えています。

● ゆめくらしワークス

就労分野に関しては今年度も多数の就職者を出すことができおり、ジョブコーチの部門では全国大会事務局も務めたりと確実に実績を残しています。就労継続支援B型に関しては全国平均まではまだまだ及ばない状況ですが、毎年確実に工賃アップを実現することができています。次年度は就労定着支援事業など新たな分野もできることもあるため、さらなるステップアップを図っていくことが必要となってきています。

● 地域生活支援センターチャレンジ

北区の熊本市の指定委託に関しては残念ながら取ることはできませんでしたが、中央区の相談支援事業に関しての委託を受けることができています。新たな広がりを生むことができる可能性ができたと感じています。今後も北区の相談は継続していきながら委託を受けた中央区で相談に関する実績を残していきたいと考えています。相談に関しても経験年数のいる職種でもあり、やはり人事の面で課題を抱えています。職員の育成も含めて将来を見据えた事業展開が必要であると感じています。

●ゆめくらし事業所 オレンジハウス

今年度はより個別のニーズの実現、地域へを意識した取り組みを行っています。少しずつ入居されている方々も自立性が芽生え、新たなニーズも生まれてきているように感じています。しかし、その一方で高齢化の問題も出てきているため、支援者として両面で支えていけるような仕組みづくりが必要となってきた状況です。入所支援であげた待機者問題について解決への糸口となるのがこのゆめくらし事業部の分野であるため職員のスキル向上とさらなる飛躍ができるよう研鑽していきたいと思っています。

●事務部・人事

人事に関しては先であげたように人材不足が支援者・看護師ともに慢性化している現状となっており個々の負担も大きくなっていると感じています。事業運営にあたって基本となる「人」の問題をどのように解決していくか、福祉だけでなく働く担い手が不足している中でどのように人材を確保していくかは重要な課題となっています。人事に関しては積極的に外への発信を行っていき人材確保に向けた動きを計画的且つ効率よく行っていけるよう今後も工夫していく必要があると感じています。

また今年度も昨年度同様、事務部が衛生管理委員会も兼ね、職員のメンタルヘルスも含めた職場環境構築に努めています。今年度はサービス残業や時間外労働を把握するうえで、タイムカードの導入を行いそのデータを基に今後の対応を考えていくこととしています。新たな人材発掘と今働いている職員の職場環境両面を考えた職場作りを今後も努力していきたいと考えています。

◇ 「安心」「安全」「安らぎ」に向けて

前年度施設として初めて権利擁護に関する大きな不祥事を起こしてしまった事を受け、今年度は内部研修を年4回に増やしたり、外部講師の召喚やアンケートの実施の仕方、体制チェックリストの活用など様々な再発防止へ向けた取り組みを行っています。一度失った信頼は簡単に戻るものではありませんが、再び信頼してもらえるような施設づくりを目指して今後も地道な努力を続けていくことが大切であると考えています。また、今年度は初めて在籍中のご利用者様がお亡くなりになられ、御見送りしなければならぬというとても辛い出来事のあった年でもありました。改めて命の尊さと自分たちの仕事の重みを感じた一年ともなっています。今年度得た教訓と糧を生かし今後も「安心」「安全」「安らぎ」に向けた努力を続けていかなければいけないと感じています。

以上